



大 山 桜

## 冬季における労働安全の確保について

次長 葛西 貴仁

12月3日から冬期事業が開始されましたが、当署では、平成24年度「冬期事労働災害防止対策強化期間」を設定し、労働安全確保対策の一層の強化を図ることとしています。

今年度の「冬期事業労働災害防止対策強化期間」については、局全体で請負事業体における労働災害が多発していることから、昨年度と同様に請負事業体についても実施計画に基づき実施する事項を設け、安全な作業環境の確保、安全意識の高揚を図ることとしており、署が一丸となり、直営事業、請負事業共に、労働災害、特に重大災害の撲滅を期することとしています。

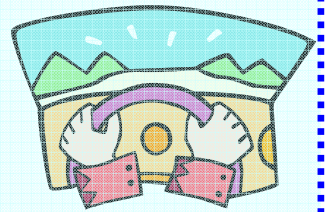
特に、冬期事業では寒冷や積雪等の悪条件が重なり、作業環境や交通事情が一段と厳しくなることから、より一層しっかりとした安全管理体制を確立し、労働安全対策の一層の強化を図っていただくようお願いするとともに、「労働災害は絶対起こさない」という決意で基本動作の徹底等をお願いします。

また、東北局管内における交通事故も多発し、その内公務災害が2件となっているところであり、自身の安全運転はもちろんですが、防衛運転を心がけていただくとともに、岩手県冬の安全運転（いち、にっ、さん）運動、1割のスピードダウン、2倍の車間距離、3分早めの出発を実行し、ゆとりのある運転に努めてください。

毎日の安全作業の積み重ねが冬期事業期間の無災害へとつながりますので、日々の健康管理と合わせ、着実な安全諸活動への取組みをお願いします。

..... 注 意 喚 起 .....

寒い日が続いています。健康に留意しましょう  
道路が凍結しています。安全運転を心がけましょう。



### 🌿 民国連系によるコンテナ苗木普及現地検討会 🌿

平成24年9月27日二戸市浄法寺町御山第一国有林にて、コンテナ苗木普及現地検討会を開催しました。平成23年度からコンテナ苗の実証試験区を設定し、多雪寒冷な地域におけるコンテナ苗の改良と低コスト育成林業の開発を目的に調査しています。調査において、スギにおいてはコンテナ苗の初期成長の早さが確認でき、また下刈り作業において作業コストの低減につながる可能性が見いだせてきています。参加していた造林関係者達は調査結果を踏まえ、今後の林業における可能性に期待していました。



## 米代川上中流域植樹祭

平成 24 年 10 月 12 日(金)八幡平市矢神岳国有林で植樹祭を行いました。岩手県米代川漁協・鹿角市河川漁協・米代東部森林管理署・岩手北部森林管理署の主催により約 100 名の方々にお集まりいただきました。あいにくの小雨まじりの天気でしたが、開会式での田山小学校の皆さんによる元気な「緑の誓い」で会場が明るくなりました。・ミズナラ 100 本・クリ 100 本を植樹及び、ドングリの種まきをしたあと「記念標柱」を建立し、森林から川へとつながる生態系の大切さを改めて感じながら植樹祭を終了しました。



「緑の誓い」を読む子供達



クリの植樹



「記念標柱」の前で



## 間伐現地検討会

平成 24 年 10 月 26 日(金)馬淵川上流流域森林・林業活性化センターとの共催で関係者 60 名により八幡平市兄川山国有林にて間伐検討会を行いました。「森林作業道作設オペレーター養成研修」の講師を勤められている西間薫氏を講師に招いて(効果的な森林作業道の作設)等について指導を受けた後、意見交換を行いました。

## 安比環境保全活動

平成 24 年 10 月 28・29 日「あっぴ高原遊々の森」で、環境保全整備事業を行いました。(安比高原ふるさと倶楽部)主催、(当署)共催によって、2 日間で約 100 名のボランティアが集まり作業を行いました。灌木・ササ等の刈払い・焼却作業を 2 日にかけて行いました。29 日には、安比高原の貴重な財産である自然環境を、次世代につなげていくには何が必要かを話し合い今後の環境保全のあり方を確認しました。



ボランティアの皆さんで



## 森林共同施業団地現地検討会

平成 24 年 11 月 14 日(水)八幡平市矢神岳国有林にて現地検討会を開催しました。「森林・林業再生プラン」にもとづき「森林共同施業団地」の設定に取り組み、八幡平市と浄安森林組合と協定している八幡平市田沢地域森林施業団地において民有林所有者も含め、約 40 名が参加しました。路網整備・森林整備の状況についての説明が行われ、意見交換を行いました。

# 森林教室

平成24年5月から始まった小学生への森林教室が10月で終了しました。子供達から森林教室の先生達にお礼状が届いたり、大変楽しい交流がありました。

あいにくの嵐でしたが、登山直前に雨が上がり八幡平登山しながら、標高による植物の違いでふるさとの森林の状況を勉強しました。田山小学校 (H24・10・5)

山頂の木の観察



八幡沼の前にて

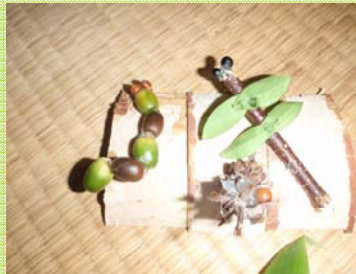


地球温暖化の防止とバイオマスエネルギーについて学習しました。「遊々の森」にある材料を使いクラフトを作りました。そして、最後にバイオマスエネルギーにて、焼き芋を焼いてマヨネーズをたっぷりつけて食べました。安代小学校 (H24・10・1)

クラフト作りに集中



素敵な作品！



楽しいおやつ



ミズナラ・クリを植樹して、牧草地の森林化技術の研究箇所を見学しました。その後、生態系のつながりを学び一つの生物がすべてに係わっていることを学びました。また、森林が出す酸素の量を実験によってはかり、自然の大切さを学びました。田山小学校 (H24・10・12)

仲良く植樹



CO2  
濃度測定中



生態系の学習



「遊々の森」で、木の実を探したり、目を閉じて鳥の声を聞いたりと存分に森林を感じた一日のようでした。ゲームをしながら、生態系の学習をしました。大更小学校 (H24・10・17)

真剣に学習中



ブナの声を聞いて



小学生の皆さんからいただいたお礼状は、季節の挨拶から始まり、とてもしっかりした内容で自然の楽しさを書いた嬉しい手紙でした。



# 完熟はいつ頃？

技術専門官 松尾 亨

実りの秋とは言うものの、木の実の完熟期って？・・・冬の凍れを待って酸味や渋みが、甘さに変わる木の実は、オナガやシジュウカラは食べ頃を見極めて冬越しの食料とします。今回はこれらの樹木の実をクイズ形式で学んでみましょう。

秋のうちから甘いタイプもありますが、時間とともに渋く・甘く・芳しくと変化する木の実は動物や野鳥に、食べてもらうための工夫です。甘さや渋さは、時として人にも求められる要素ですが、人間としての熟し頃って？・・・では、里山や高原にある6種類の樹木とツルのクイズに挑戦してみましょう。

- ①牧草地や高原で見られ花は白く、葉が3裂することでエゾノコリンゴと区別します。
- ②変形した果柄が名の由来。果柄が厚く膨らみ食べると甘く岩手の方言で「アマガゼ・アマザキ」
- ③ぱっくり開いた形がヒント、甘くてヤマネやモモンガも食べにきます。葉は3枚。
- ④初夏に薄紫の花を上向きにつけ葉は対生、方言で「ハシギ」。源氏物語がヒント。
- ⑤ニシキギの仲間ですがコルク質の翼はつかない。2個の実と朔果が美しい。
- ⑥方言で「ジョウミ・ジュミ」と呼ばれ、熟すと甘酸っぱい。焼酎に漬けると赤く 美しい果実酒となり利尿効果有り。



①



②



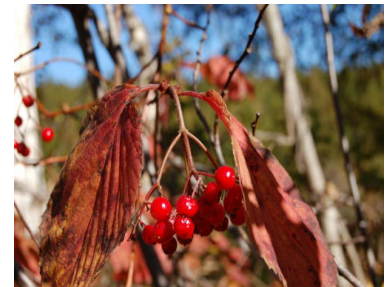
③



④



⑤



⑥

答え：①ズミ（バラ科）②ケンポナシ（クロウメモドキ）③ミツバアケビ（アケビ科）④ムラサキシキブ（クマツツラ科）⑤コマユミ（ニシキギ科）⑥ガマズミ（スイカズラ科）

## 北東北の冬の自然

県内のすべてのスキー場もオープンし北東北の冬も本番となりました。ニュースでは大寒波の大変さをしきりに流していますが、家の中で暖まりながら美しい雪景色を眺めている私たちにとっては不思議な感じがします。関東の方からすると、演歌の歌詞の内容のように『東北＝寒い・つらい・暗い』イメージがありがちですが、同じ雪国でも『北欧』というだけで、なぜ『おしゃれ・素敵・あこがれる』イメージがあるのでしょうか？素晴らしい雪の自然に囲まれている北東北の生活を、雪を知らない方にもぜひ体験してほしいと思います。

さて、今年巳年です。（巳）は「漢書 律曆志」では、「止む」の意味があり、草木の成長が極限に達して次の生命が作られ始める時期と解釈しています。また、ヘビが冬眠から覚めて地上にはい出す姿から「起こる・始まる・定まる」の意味もあるそうです。新しいことを始めるにあたって「北東北の冬の素晴らしさ」が岩手の自然や山々から発信できる年になったら・・・と感じています。